



JICAME 通信

JICA カメルーン事務所
2013年11月号 第16号

☆☆☆11月の予定 ☆☆☆

【事業・事務所の動き】

- ★10月17日～11月7日：火口湖ガス災害防止プロジェクト中間レビュー調査
- ★10月26日～11月16日：有償資金協力実施促進支援
- ★11月7日～9日：科学技術イノベーション振興プロジェクト協力準備調査来訪 (JKUAT/PAUISTI)
- ★11月14日～30日：カメルーン熱帯雨林とその周辺地域における持続的生業戦略の確立と自然資源管理プロジェクト (FOSAS) 中間レビュー調査
- ★11月19日～27日：第5次小学校建設計画実施状況調査
- ★11月25日～12月7日：第4次小学校建設事後評価調査
- ★11月30日～12月7日：中小企業振興調査
- ★11月30日～12月14日：熱帯雨林地域陸稲振興プロジェクト (PROEERiP) 終了時評価調査

【人の動き】

- ★11月9日：捧専門家着任 (PRODERiP)
- ★11月21日：松本専門家着任 (COMIFAC)

【目次】

1. JICA 理事長賞授与式「第4次小学校建設計画」
2. ブラジルへの道 - ワールドカップ出場決定！

～ JICA 理事長賞授与式 ～

「第4次小学校建設計画」

第9回 JICA 理事長賞に、カメルーン「第4次小学校建設計画」が選ばれました。

2004年に同賞が設立されて以来、アフリカの受賞（プロジェクト部門）は、チュニジア（2010）、マラウイ（2012）に続く3カ国目となりました。

受賞の理由は、社会経済環境的インパクトが高く、外部に広く知れ渡り、持続可能性があり、ビジビリティが高いことです。まさに「最優秀プロジェクト」。今回は、モンゴル、パレスチナ、インドネシア、サモア独立国に並んでの理事長賞受賞となりました。

受賞の知らせを聞いた教育大臣は想像以上に喜び、教育大臣自ら他の大臣を多数セレモニーに招請し、当日の朝からは、ラジオが繰り返しセレモニーの内容を報じ、夜のテレビニュースで全国放送されるほどの大々的な授与式となりました。

カメルーンで日本が建設した小学校は「Ecole Japonaise：日本の学校」と呼ばれ親やコミュニティからも誇りを持って親しまれ、優秀な教師陣が配置されています。なかには「日本の学校」に通うために引っ越す家族もいるとか。

また、2011年からは、教育省自らが、学校施設の衛生、緑化、清潔さを保つために、「きれいな学校 (Kirei na Gakko) コンクール」を開始し、州教育省によって審査・表彰されており、日本の無償資金協力による学校は、施設が良好にメンテナンスされ、引渡し後10年以上の月日を感じさせないほど美しく管理されており、日本からの来訪者を驚かせます。

今後は、カメルーンに留まらず、アフリカの・いや世界の JICA 援助国の「日本の学校」モデルとして、Kirei na Gakko コンクールが広がることを期待します。



教育大臣から贈られた黄金の騎馬

ブラジルへの道 - ワールドカップ出場決定！

JICA カメルーン事務所 所長 矢部 優慈郎

「不屈のライオン」と呼ばれるサッカーカメルーン代表チーム。10月の最終予選初戦はアウェーのチュニジアで両者無得点の引き分けとなり、いよいよ11月17日のホーム戦に臨みました。日本の協力で改修された国立スタジアムは9月のリビア戦をしのぐ約40,000人の大観衆で埋まり、全く隙間なし。試合はカメルーンが優位に展開し、開始4分の初得点に始まり、前半2点、後半2点を挙げ、そのたびに歓喜の渦が巻き起こります。そしてチュニジアのゴールを1点に抑えて勝利し、2014FIFAワールドカップブラジル大会への出場を決めました（2大会連続7回目）。ジャン・マクン選手が2得点。キャプテンのエトゥ選手のフェイントを効かせた巧みなパスが奏功しました。

試合中には何度もウェーブが起こりスタジアムの一体感は素晴らしく、前回よりも観戦マナーは良かったです。また、メインスタンドのチュニジア応援団は約100人でしたが全員最後まで立ちっぱなしで太鼓のリズムに一致団結していたのが清々しかったです。肝心の天然芝は斜線型に等間隔で刈り込まれ、乱入防止のために観戦フェンスに沿って大勢の見張り役が置かれ、運営面も改善されていました。

W杯本大会へのアフリカ出場国はコートジボアール、ガーナ、アルジェリア、ナイジェリア、カメルーン、の5カ国（11月20日現在FIFAランキング順）です。そして、日本と同じグループになるのはどの国か？12月の組み合わせ抽選会に注目です。



攻め込むカメルーン



ゴールに沸くサポーター



エトゥ選手の歓喜

一角を占めるチュニジア応援団



スタジアム正面の記念銘板

